

14 幹細胞研究を継続 する公債を許可する。 州民発案法案。

公式の表題と要約

司法長官が作成

提案本文は州務長官のウェブサイトの89ページをご覧ください

voterguide.sos.ca.gov

- トレーニング、幹細胞治療開発および導入、研究施設の建設および関連管理出費を含む幹細胞およびその他医学研究のために、California Institute of Regenerative Medicineから教育、非営利および民間団体への補助金に充てるために州一般保証公債55億ドルを許可する。
- 15億ドルをアルツハイマー病、パーキンソン病、脳卒中、てんかん、およびその他脳・中枢神経系疾患や状態のための研究や治療専用とする。
- 公債債務サービスに支払うために一般財源金を割り当てる。
- 幹細胞およびその他医学研究、治療開発および導入、学生および医師のトレーニングと特別補助を推奨するプログラムを拡大する。

立法アナリストによる州および地方政府への予測される最終的な財務的影響の要約：

- 州がこの先およそ30年間に公債の返済に充てる経費は、年間約2億6,000万ドルに増大する見込みである。

州経費の要約

新規借入金

元金 55億ドル

利子 23億ドル

合計推定費用 78億ドル

返済

平均年間費用 2億6,000万ドル

推定返済期間 30年

支払源 主に一般財源
源税収

立法アナリストによる分析

背景

研究者は幹細胞を様々な疾病の研究、治療に使用。 幹細胞は人体に存在する特定の種類の細胞です。研究者は、幹細胞に細胞、組織、臓器を再生する機能があることから、特定の病気の治療や治癒に役立つ可能性があるとして関心を抱いています。

「再生医学」に携わる研究者は、アルツハイマー型認知症、HIV/AIDS、脳卒中、糖尿病、がんなどの様々な病気への対応に力を入れています。

有権者は幹細胞に関する前投票法案に賛成しました。 2004年、有権者は提案71に賛成しました。提案71はカリフォルニア

州の研究者が幹細胞研究を実施する権利を認める条項を州の憲法に追加するものでした。またこの法案により、幹細胞研究、新たな治療法の開発、治験の発展、新たな研究施設の開発、その他関連活動を支援するためにCalifornia内の大学やその他の団体に助成金を提供することを主な目的とする、California Institute for Regenerative Medicine (CIRM) が設立されました。また、(1) CIRMの方針の採用と助成金の割り当てを行う管理委員会、(2) 特定の事柄に関して管理委員会の方向性決定を支援する3つの諮問ワーキンググループ、(3) CIRMの財務状況をレビューする独立監督委員会も設立されました。

立法アナリストによる分析

続き

州に一般保証公債の発行を許可する法案。

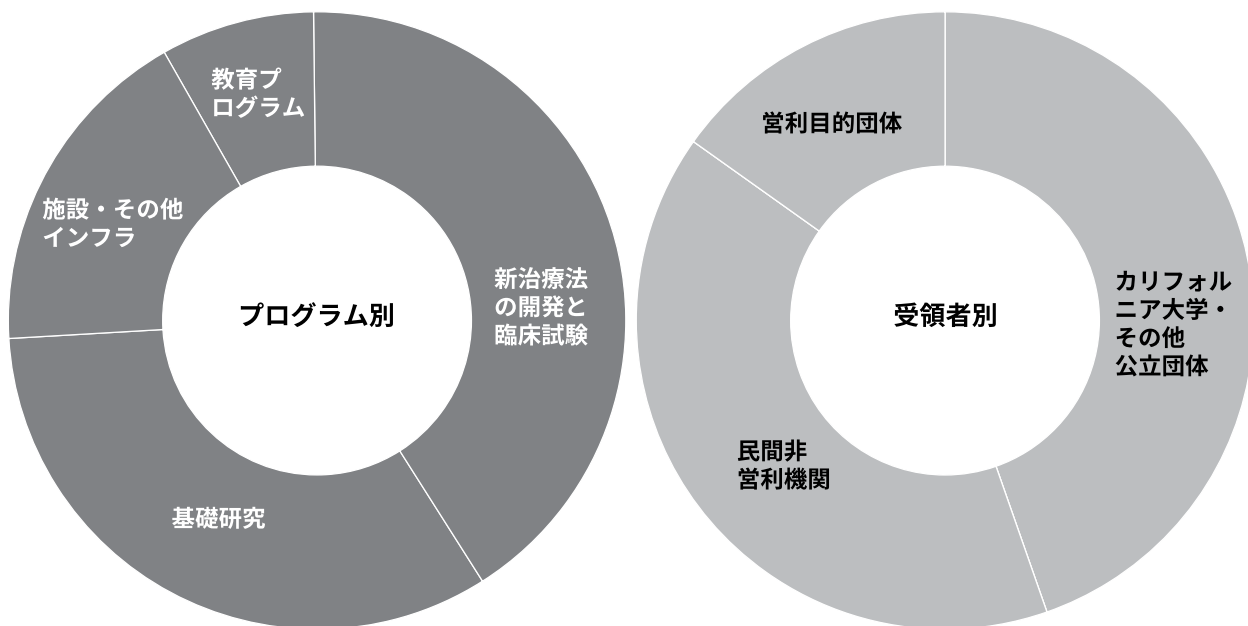
提案71は、借入の形で30億ドルの一般保証公債の発行を州に許可します。州は公債を投資家に販売し、そこから得られた資金をCIRMの助成金および運営に供給しました。公債の販売後、州は長年にわたり投資家に対して利子を支払っています。このような種類の公債では一般的ですが、州は借入金の返済の大部分を州の主な運営資金である一般基金から賄っています。この一般基金からは、教育、刑務所、医療、その他公共サービスへの支払いも行っています。この法案は、公債の販売による基金から少額の利子を支払うことを義務付けています。

（州の公債の利用についての詳細は、本ガイドの「州の債権債務の概要」を参照のこと）。

様々な目的に資金を提供する助成金。 図1はCIRMが助成金を用いて資金提供を行う方法を表しています。資金提供を受けたプロジェクトは、可能性のある治療の開発や臨床試験を請け負うなど、基礎科学研究（幹細胞に関する実験研究など）の実施に携わっています。助成金は、新たな研究施設の建設や大学生の研究インターンシップなどその他の活動も支援しています。University of California（カリフォルニア大学）がこの助成金から最も多くの資金提供を受けており、民間非営利の大学や機関（Stanford University（スタンフォード大学）など）がそれに続きます。CIRMからの助成金の受領に加え、助成金受領者の多くが自身のプロジェクトに対してその他の財源から追加の資金提供を受けています。その他の一般的

図1

提案71幹細胞研究に対する助成金の概要 2004年以降 \$27億を付与



LAO

立法アナリストによる分析

続き

な財源には、産業界からの寄付、民間からの寄付、連邦の助成金があります。

助成金受領者に発明関連の収益を州と分け合うことを義務付ける。 幹細胞研究の一部は、新たな医療技術や治療などの新発明に繋がる可能性があります。提案71は、そのような発明のライセンス供与や販売を行う助成金受領者に対して、結果として得られた収入の一部を州と分け合うことを義務付けています。州に分けられた収入は一般基金に追加され、州のプログラムの支援に使用される場合があります。長期間にわたり、CIRM管理委員会は州と収入を分け合う方法に関する規則を策定してきました。州は2017年に、CIRMによる資金提供による発明からの収入の受け取りを開始しました。現在までに、このような発明から州に合計約35万ドルが提供されています。

CIRMは利用可能な資金をほぼ全額使用済み。 2020年6月時点でCIRMは提案71の資金の大部分を使用済みです。CIRMによると、約3億ドルが助成金として利用可能であるとしています。資金提供の終了が近づくのに伴い、CIRMは人員削減を実施しています。CIRMではピーク時に50名を超える常勤スタッフを雇用していましたが、現在は常勤スタッフを35名までに削減しています。残りのプロジェクトの完了に向け、今後数年の間は一部のスタッフを維持する予定です。

提案

幹細胞活動への新たな公債の許可。 提案14は、55億ドルの一般保証公債の販売を州に許可します。この公債では、様々な病気の治療（臨床試験を含む）の研究開発を支援する追加助成金への資金提供を主に行います。少なくとも15億ドルを特に脳と中枢神経系に影響を与える病気（アルツハイマー型認知症やパーキンソン病など）の治療

（臨床試験を含む）の研究開発用に確保することを提案しています。また、CIRMに対して、California State University（カリフォルニア州立大学）とCalifornia州のコミュニティカレッジの学生に対するトレーニング機会の提供と、研究および臨床試験に特化した施設の設立とサポートに役立てるよう助成金の一部少額を配分することを指示しています。助成金の種類によっては、CIRMは、助成金受領者が州全体に偏りなくいること、マッチングファンド（州と同額の資金を自ら出資すること）を申し出る申込者を優先することを確保するよう求められています。この提案はCIRMに対して、管理運営費用として助成金資金の7.5パーセントを超えない額の使用を認めています。

公債に関する特定の規制の策定。 この提案では、州が販売できる公債の金額を年あたり5.4億ドルに制限し、公債の販売を少なくとも11年にわたって分散するとしています。提案の可決後最初の五年間は、公債の販売から得られた資金を使用して利子の返済を行うため、研究プロジェクトに使用可能な公債による資金額が減少します。2026年1月1日以降、州は公債の販売から得られた資金を利子の返済に使用しません。その代わりに、一般基金から残りの借入金の返済を行います。

CIRMに対する数多くの変更点。 この提案の最も顕著な点は、幹細胞を使用する治療に対する患者のアクセスを向上することを意図した変更が多く加えられていることです。特に、患者に対するアクセスの向上と治療を手頃な値段にすることに関するポリシーとプログラムの開発を目的として、CIRMに常勤スタッフを15名まで雇用することを認めています。（CIRMはその他の運営目的のために、最大70名の常勤スタッフを雇用することが認められています）。専門

立法アナリストによる分析

続き

家による新たな諮問ワーキンググループがこれらの事項についてCIRMの管理委員会をサポートします。さらに、一般基金に加えられた発明関連の収入は、患者の再生医療を使用した治療費の支払いの支援に使用されます。その他様々な変更点には、CIRMの管理委員会の人数を29名から35名に増員すること含まれます。

財務的影響

州の推定費用合計は78 億ドル。本提案で認められた公債の返済にかかる費用は、公債の利率や返済期間など様々な要因に基づきます。私たちはこの公債の返済にかかる費用総額を78億ドル（元本に対して55億ドル、利子に対して23億ドル）と推定します。州の費用は**約30年間で年間平均約2.6億ドルとなります。**この金額は、州の現在の一般基金予算の1%未満です。

患者の治療費用に対して利用できる発明関連収入の推定は困難。再生医療を使用した治療の患者の費用に役立てるための、州が得られるであろう新たな発明による収入の金額は確実ではありません。多くの場合で、研究は発明までに至っていません。また、研究プロジェクトの開始からそれに伴う発明のライセンス供与や販売に至るまでには、

非常に長い時間が必要とされます。今日までに、発明関連の収入として州が回収できたのはわずか数十万ドルです。ただし、過去に回収できた収入をもって、今後の収入を正確に予想できるわけではありません。

その他の財務的影響の可能性。この提案は、州政府および地方政府に数多くの間接的な影響を与える可能性があります。例えば、この提案によって新たな治療がもたらされた場合、Medi-Cal（州の補助を受けた低所得者向けのヘルスケアプログラム）などの一部のプログラムに対する州政府および地方政府の費用が影響を受けると考えられます。この提案の非直接的な効果による財務的影響が実際にどれくらいになるかは不明です。

<http://cal-access.sos.ca.gov/campaign/measures/>で、主にこの法案を支持または反対するために構成された委員会のリストをご覧ください。

委員会に対する政治献金
の上位10名は、<http://www.fppc.ca.gov/transparency/top-contributors.html>
で確認できます。

この州法案の全文の写しは、
本ガイドの89ページをご覧ください。